「元気いっぱいの笑顔いっぱい」



特別支援教育統括コーディネーター 加賀谷 勝

同學學的語音技術

1 歴代絵本累計売り上げ ベスト10

1位 いないいないばあ

3位 はらぺこあおむし

5位 しろくまちゃんのほっとけーき

7位 てぶくろ

9位 じゃあじゃあびりびり

2位 ぐりとぐら

4位 だるまさんが

6位 ねないこだれだ

8位 おおきなかぶ

10位 きんぎょがにげた



「いないいないばあ」(著:松谷みよ子)の魅力

- •「いないいないばあ」は、1967年に本格的な赤ちゃん絵本として出版されてから、 発行部数が735万部を突破しています。日本で一番売れている絵本です。
- ・ねこやいぬたちが、ページをめくると満面の笑みで現れるので、赤ちゃんは笑顔で絵本を覗き込みます。優しい色合いも赤ちゃんの気持ちを引き付けます。また、いないいないばあは、とても単純な遊びです。「いないいない」と、一瞬顔が見えなくなり、赤ちゃんは不安な気持ちになります。しかし、その後「ばあ」と大好きな親の顔が現れると「やはりそこにいた!」と安心して、笑いに変わります。「不安→大丈夫、不安→大丈夫」を繰り返し経験することで、「自分は愛されている、守られている」と感じることができます。赤ちゃんが笑うと、自然と親も笑顔になり、一体感が生まれます。「いないいないばあ」は、親子の絆を深めるだけでなく、思わず笑い声が出てくるので言葉を引き出すこともできる絵本です。笑顔は、人を幸せにする力があります。

2 第4回小学生が選ぶ!「子どもの本」総選挙 ベスト10

1位 りんごかもしれない 2位 ざんねんないきもの辞典

3位 大ピンチずかん 4位 あるかしら書店

5位 ふしぎ駄菓子屋銭天堂 6位 パンどろぼう

7位 四つ子ぐらし(1)ひみつの姉妹生活、スタート! 8位 ドラゴン最強王図鑑

9位 ほねほねザウルス ティラノ・ベビーのぼうけん 10位 100かいだてのいえ



「りんごかもしれない」(著:ヨシタケシンスケ)の魅力

- 最近は大人の読み物としても絵本が選ばれるようになってきました。
- ・ヨシタケシンスケさんの「りんごかもしれない」は、小学校から帰ってきた男の子が、 テーブルの上のりんごを見付けます。「これはりんごじゃないかもしれない」というー 言からストーリーが始まります。大きなサクランボの一部かもしれない、中身はブド ウゼリーかもしれない、反対側はミカンかもしれないなど、男の子が一つのりんごを 通して、100通り以上の発想を膨らませていく物語です。
- この絵本から、子どもの目に見える行動だけでなく、見えない内面に目を向ける大切 さを知りました。また、子どもが自分の多様な価値に気付けるように、小さな頑張り を評価したり、「〇〇が得意なKさん」と呼んだりすることも大切です。





ENETTE



「読み聞かせの魅力」

絵本の読み聞かせは、聞く力や想像力が育まれる、感性が豊かになる、語彙力や読解力を 高めるなどの効果があります。しかし、一番の魅力は、温かい空間、楽しい時間を共に過ご し、同じ絵本の世界を一緒に味わい、気持ちを共有することで、子どもと良好な関係を築け ることです。読み聞かせは、幼児や小学生だけでなく、中学生や高校生にも効果があります。